

< 地理歴史・公民 > 科 学習シラバス

科 目	日本史探究	学年・コース	3 年生 紙のまちづくり	単位数	3 単位	教科書	高校日本史 山川出版社		
学習の到達目標		社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究・解決する活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。							
評価の 観 点	A 知識・技能			B 思考・判断・表現		C 主体的に学習に取り組む態度			
評 価 の 内 容	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら、総合的にとらえて理解しているととともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。			我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義・伝統と文化の特色などを、時期や年代・推移・比較・相互の関連や現代とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察・構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。		我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚・我が国の歴史に対する愛情・他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。			
評 価 の 方 法	・定期考查 ・学習活動における発言内容			・定期考查 ・予習や復習、プリント(板書)の取組状況 ・長期休業中の課題		・学習活動への参加姿勢や態度 ・学習活動における発言内容 ・長期休業中の課題			
学期	月	単元名・小単元名		学 習 の 指 導 内 容			評 価 の 観 点		
				A	B	C			
1 学 期	4	第Ⅰ部 原始・古代 第Ⅰ章 日本文化のあけぼの 1 日本文化の始まり		・遺跡・遺物など考古学上の知見をもとに、旧石器文化から縄文文化の時代の人びとの暮らしを考察する。 ・日本に本格的な農耕文化が形成され、集落間の対立抗争からより広域を支配する権力が形成されたことを、遺跡・遺物の発掘や中国の文献から考察する。			○	○	
		2 農耕の開始					○	○	
	5	第Ⅱ章 古墳とヤマト政権 1 古墳文化の展開		・前期、中期、後期ごとの古墳文化の特徴や、ヤマト政権の成立と発展、中国大陸・朝鮮半島との関係について、各種金石文や文献から考察する。 ・ヤマト政権の権力争いや大陸文化との関係の変化に着目し、推古朝の政治や外交・文化について考察する。			○		○
		2 飛鳥の朝廷					○		○
	6	第Ⅲ章 律令国家の形成 1 律令国家への道		・大化の改新や律令国家が成立するまでの政治過程について、東アジアの変動を踏まえて考察する。			○	○	
		2 平城京の時代					○	○	
2 学 期	8・9	3 律令国家の文化		・日本と東アジアとの関係を踏まえて、奈良時代の政治の流れを理解し、その背景について考察する。 ・律令国家の成立・繁栄期にあたる白鳳文化や天平文化について、国家仏教や唐の影響を強くうけた美術や絵画の特色に着目して考察する。 ・桓武・嵯峨天皇による律令制度の建て直しと、その後の政治制度の変質について考察する。			○		○
		4 律令国家の変容					○	○	
	10	第Ⅳ章 貴族政治の展開 1 摂関政治		・藤原北家の勢力拡大や律令制支配の衰退と地方支配の仕組みの変質が、中世的な世界を生み出していくことについて考察する。 ・東アジア社会の変動と関連させて、国風文化の成立と国風文化が日本の伝統文化に与えた影響について考察する。 ・寄進地系荘園の成立などの土地制度の変化と、棟梁を中心とした大武士団の成立過程や次第に政治的な力を持つようになったことについて考察する。			○	○	
		2 院政と平氏政権					○	○	
	11	第Ⅴ章 院政と武士の進出 1 院政の始まり		・院政がどのように成立・展開したのか、古代から中世への歴史の転換と関連づけて考察する。 ・院の信任を得て台頭した平氏が保元・平治の乱を通じて勢力を拡大し、政権を獲得した過程やその政権基盤・特色などについて考察する。 ・平氏の滅亡・鎌倉幕府成立の経過や、北条氏の台頭から執権政治を確立していく過程を理解し、御家人の生活と御家人による地域支配について土地制度の仕組みを踏まえ考察する。			○	○	
		2 モンゴル襲来と幕府の衰退 3 鎌倉文化					○	○	○
3 学 期	1	第Ⅵ章 武家政権の成立 1 鎌倉幕府の成立と展開		・鎌倉仏教の成立や旧仏教の改革などの宗教界の動向を踏まえ、芸術の分野や文学においても新しい傾向がみられたことを理解し、鎌倉文化の特色を国際関係を踏まえて考察する。 ・守護大名・国人一揆などの新たな地域権力の形成を踏まえ、鎌倉幕府の滅亡や建武の新政・南北朝の動乱・室町幕府の成立と体制について理解する。 ・惣村の形成から土一揆へ発展したことを踏まえて、幕府の動揺や下剋上の風潮を考察する。			○	○	
		2 下剋上の社会					○	○	
	2	3 室町文化		・公家や武家・庶民などの文化の形成や融合を踏まえて、日本の伝統文化の原型が形成された室町期の文化的な特色と、文化の地方普及について考察する。 ・応仁の乱以降に成長した戦国大名や各地で発展した都市・自治的に運営した人びとの活動について、諸地域の地理的条件などと関連づけて考察する。			○	○	○
		4 戦国の動乱					○		
	3								
学習のポイント		・教科書をしっかり読むとともに、史料や図版・授業中の板書・プリント等を活用して基本的な知識を定着させる。 ・歴史用語をただ単に暗記するのではなく、歴史の流れの中で理解できるようにしよう。 ・テレビや本などで歴史的なものに注意しておき、現代の出来事とのつながりを意識しよう。							